

「ひとり暮らし」と「とも暮らし」

自分で「えらぶ」看取りのカタチ

わたしとあなたの生き方・逝き方、自分の願いや看取りについて、「選ぶ」をテーマにともに考えてみませんか？

❖ 日時

2025年 **1月25日(土)**

15時～17時30分(開場14時30分)

❖ 会場

尼崎健康医療財団 看護専門学校
3F 大講義室

参加
無料

定員200名 事前申込必須

お申込〆切 1月17日(金)

～お問合せ、お申込は裏面をご覧ください～

❖ プログラム

1. 講演

I. 「ひとり暮らし」の立場から

丸尾多重子氏

(元NPO法人つどい場さくらちゃん理事長)

II. 「とも暮らし」の立場から

市原 美穂氏

(全国ホームホスピス協会理事長)

2. 座談会

「「ひとり暮らし」と「とも暮らし」

～自分で「えらぶ」看取りのカタチ～

※「とも暮らし」の「とも」には、〈共〉に暮らし、〈友〉としてお互いを気遣い、スタッフや他の住人やその家族が最期の時まで〈伴〉走する「関係」という意味があります。

◆主催 NPO法人 愛逢

◆後援 尼崎市・尼崎市医師会・尼崎市社会福祉協議会園田支部・園田地区連携会議「そのだ会」

◆助成金 本事業は公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています。



丸尾多重子 元NPO法人つどい場さくらちゃん理事長

家族の介護、看取りを経て介護の現実直面し、自身の後悔から「学び・情報・感情の吐露」が出来る場をと、2004年3月1日に「つどい場さくらちゃん」をスタートさせる。2024年3月に20年間の活動を閉じる。著書に「まるちゃんの老いよボチボチかかってこい!」、 「心がすっと軽くなるボケた家族の愛しかた」(長尾和宏氏との共著)など。



市原 美穂 全国ホーム Hospice 協会理事長・認定NPO法人ホーム Hospice 宮崎理事長

2004年、認知症や末期癌など困難な条件が重なり、自宅や施設では暮らせなくなった方々が、5~6人で「とも暮らし」をする「ホーム Hospice かあさんの家」を開設。その活動は2009年NHKヒューマンドキュメント「最期の家」等各種メディアにより全国で紹介される。2015年に全国ホーム Hospice 協会を設立し、理事長に就任。

※ ホーム Hospice 民家等を活用し5、6人の住人が、病いや障害があっても最期までその人らしく暮らせる共同の「住まい」。全国数十カ所以上に広がっている。



◆ 会場

尼崎健康医療財団 看護専門学校
3F大講義室

〒661-0974 兵庫県尼崎市若王寺2丁目18-1

◆ アクセス

- ・ 阪急神戸線「園田」駅南出口より徒歩15分
- ・ JR宝塚線「塚口」駅より徒歩18分
- ・ 阪神バス11番「百合学院前」下車すぐ
- ・ 駐車、駐輪場あり

あいあい
NPO法人 **愛逢**

住所 〒661-0972 尼崎市小中島1丁目5-10

TEL06-6493-1424

◆ 下記の内容でFAXまたはアドレス・QRコードにアクセスいただき、お申込下さい ◆

講演会 FAX 申込書

※ お申込締切 1月17日(金)

フリガナ
お名前

(該当に○) 市民(市内/市外)・医療・介護・福祉
属性 地域・他()

(市民以外の方)
ご所属

(電話番号等)
ご連絡先

✉ info@npo-aiai.org

かんたん!!
Webお申し込みは
こちらから ➡



- FAX等で申込をした時点で申込完了となります。
- 定員に達した場合のみお断りの連絡をします。
- 個人情報の取扱いについては本事業においてのみ使用致します。

▲ ▲ FAX 06-6493-1443 ▲ ▲